

ユ-バー-ファ-ル 4

Überfall

清水らくは

Rakuha Shimizu

閉じた蕾

この世界にこの足で立つ日々は
多分明日も続いていく
呼び声は聞こえない
その世界で君は
幸せに過ごしているのか
ここからどこへ
歩いていける
ここだった場所はここになる
この世界ならば

君のいるその世界は

ここと何が違うんだろう

どこを通れば行けるんだろうか

帰ってこられるのだろうか

何を捨てればいいのか

声は 想いぐらひは届くだろうか

こことこことの間の壁を

尊重することにした

この世界は静かに

閉じた蕾のままなのだろう

零れ落ちたものだけが

そちら側にたどり着く

たまたまこちらとそちらに

別れてしまっただけ

端っこすらわからない

探すだけの根気もない

この世界の内側で

不幸にならないための傘を差している

その世界はどうなんだい

跳ね返ってきた言葉

この体のこの心のこの真ん中に

全て飲み込む

世界の日々

たとえ世界がテトリスでも所与の空を見上げていたい

長風呂で作り笑顔の作り置きこの仮面なら騙せるでしょう

日常の「常」の部分を取り取って悩み始める特別な今日

レプリカが蔓延してる私にもあるんだよ美しい劣化版が

花びらの一枚はまだ花なのか 思いはもう私ではない



川のない街で育った僕は
川がある街に興奮する
でも川のある街に住むと
橋の少なさに悪態をつく
愛のある街 夢のある街
どんな街も
満足できないから いい

ユーバーファル 4

2017年11月1日発行

発行者 清水らくは

連絡 rakuha@hotmail.com

使用フォント

MS ゴシック

MS P ゴシック

おつとめフォント

Segoe Print

Mistral

うずらフォント